

# 太陽浴び白鮮やか 姫路の産地で 皮革天日干し

好天が続く中、姫路市花田町高木では姫路の伝統産業、白なめし革の天日干しが行われている。抜けるような青空の下、白さを増す革が鮮やかなコントラストを描いている。千年以上の歴史を持つとされる技法で、しなやかで強いことから武器や馬具に使われてきた。塩と菜種油だけでなめすのが特徴。完成までに洗ってはもんで干すという作業を15回ほど繰り返し、ため、乾燥した気候が欠かせない。

皮革職人の新田真大さん(60)は「湿気の少ない空気が大事。この時期が一番作業がはかどります」と話していた。(山崎 竜)



秋晴れの下、天日干しされる鹿の白なめし革  
姫路市花田町高木

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① これは、姫路の伝統産業の写真です。何をしているところか説明しましょう。

② この技法は、どのような特長がありますか？

③ この技法は、どのような気候が適していますか？

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。